

社友会の社会貢献活動として、会員の皆さんからの寄付で、ゴールドリボンネットワークを通じて小児がんの子供たちの支援を行っています。

ゴールドリボンネットワークより、4月に大学等に入学したゴールドリボン奨学生、卒業して4月から社会人となったゴールドリボン奨学生の卒業生から届いたばかりの声ををご紹介します！

<2023年4月 大学に入学した新奨学生>

Mさん

はばたけ！ゴールドリボン奨学金
奨学生からのメッセージ



この春から、無事芸術系の大学へ通えることとなりました。
入院していた中学3年生の頃には、私が大学へ行くことが
できるとは考えもしていませんでした。ゴールドリボンの方や、支援者
の方、本当にありがとうございます。文字ではない、芸術
という言葉で、誰かへ勇気付けられる、背中を伸ばせるような
人になれるよう、大学がしっかりと学びたいと思います。
今度は、本当にありがとうございます。

Tさん

はばたけ！ゴールドリボン奨学金
奨学生からのメッセージ



4月から大学へ進学することになりました。この度は、奨学生に選んで
いただきありがとうございます。私は生まれてすぐ小児がんがきっかけ、足に障害が
残り、今も車椅子で生活しています。でも、車椅子バスケットという新しい世界を見つ
けることができ、U23日本代表強化指定選手に選ばれたことができました。大学では
社会福祉士と特別支援学校の教師になるための勉強をしながら、車
椅子バスケットでパラリンピックを目指して頑張ります。

<2023年3月に大学を卒業した前奨学生>

Yさん

はばたけ！ゴールドリボン奨学金
奨学生からのメッセージ



皆様にご支援頂いたおかげ、4年間楽しく大学に通うことができました。この3月無事に卒業することができました。

大学では大好きな理科の勉強とたくさんすることができ、また、教員免許の取得もできました。将来は、学校の先生として、同じように小児がんを経験した子どもたちを支えたいです。

春からは大学院に進学し、さらに知識と深めていきます。

皆様、4年間のご支援、本当にありがとうございました。

Kさん

はばたけ！ゴールドリボン奨学金
奨学生からのメッセージ



私は春から保育園に就職をします。高校一年生の頃に病気を発症し、お家も裕福を方ではなかった為、進学をあきらめようと考えていたが、「ゴールドリボン奨学金」のおかげで進学することができ夢だった保育士になることができました。これからも支援していただいた方々に感謝の気持ちを忘れることなく日々頑張りたいと思います。

それぞれのメッセージからは、新入生、新社会人としての決意や進学への抱負を感じることができます。小児がんを経験し、がんや治療による後遺症を抱えている学生も多くいます。

目標を持ち、自立に向けて勉学や資格取得に励む学生たち。いずれ社会に出る奨学生です。